

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月25日更新

事務事業名		たばこ税課税事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	1	自治の健康	所属部	総務部	課長名	米澤 伸仁	
	施策	3	財政の健全化	所属課	税務課	担当者名	高鷹 博和	
	施策の柱	14	自主財源の確保	所属班	市税班	(内線)	1123	
予算科目		会計一般	款 2	項 2	目 2	事業連番 11126	根拠法令 地方税法・合志市税条例	成果優先度評価結果 : ④ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	製造たばこの卸売販売業者からの申告書を毎月受付、県から報告のある本数明細と突合。本税は、昭和25年に制定された地方税法による個人の嗜好品への課税となる。 平成22年10月に税制改正による増税が実施されたこと、また、社会的なたばこ離れにより、申告書の本数は減少傾向にある。増税により値段が上がったため、値段が安い旧3級品の伸びが目立つ。また、H27年の税制改正によりH28年度から増収が見込まれる。それに伴いH28年度から手持ち品課税が始まった。
【業務の流れ】	申告書の受付。申告書に基づく納付額の調定。
【主な予算費目】	歳入のみ
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	申告書受付、調定	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 申告書受付、調定、手持ち品課税
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由 予算なし
→ ア: 申告件数		
→ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	納税義務者である製造たばこの卸売業者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人
→ ア: 納税義務者数		
→ イ:		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適正な申告納付	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件
→ ア: 申告書受付数		
→ イ:		
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 申告書受付及びそれに伴う調定のため、前年度実績を目標値として設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	ア 件		38	38	38	30	30	30	30	30	
	イ										
② 対象指標	ア 人		4	4	4	5	5	5	5	5	
	イ										
③ 成果指標	ア 件		38	38	38	30	30	30	30	30	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	2	4	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	45	45	140	45	70	70	70	70
(B) 人件費計	千円	179	167	557	0	278	278	278	278		
トータルコスト(A)+(B)	千円	179	167	557	0	278	278	278	278		

事務事業名	たばこ税課税事務	所属部	総務部	所属課	税務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 一部納税義務者が営業エリア縮小のため市内の売渡し活動を中止したため申告書受付の減となった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 製造たばこの卸売販売業者からの申告であるため、変動は無いと思われる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 納税義務者が固定化しており、申告納付制のため、成果向上の余地はない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 市の固有事務であり他事業との統廃合・連携はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務費の支出はないため、削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 申告書の受付、調定計上事務という最低限の事務処理のみであり、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 納税義務者からの申告納付制であり、現在も適正、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 申告書の受付、調定計上事務であり職員対応となるため行政で行うことは適正である

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

たばこの値上げなどの事態が生じない限り、大きな変動はないと思われる。  
 申告納付制であるため賦課事務は生じず、市歳出予算措置を伴わないが、市の固有事務であり、事務内容も申告書の受付、市歳入予算調定事務など職員しか対応できないため、行政の役割は適正である。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						